



歯周治療をベースにした診療システムの構築 ～歯周治療成功のカギはカウンセリングにあり～

医療法人社団 真健会若林歯科医院
若林 健史

近年、歯周病の治療を主訴として来院する患者さんが増えています。我々にとっては大変喜ばしいことですが、歯周治療を成功に導くためには初診から治療中さらには、治療終了後のメンテナンスにいたるまで、スタッフ全員の連携によるチームアプローチが重要になり、医院全体のレベルアップが必要となります。歯周病の約8割はブラッシング、スケーリング・ルートプレーニング等の歯周基本治療を確実にこなせば治癒あるいはそれに近い状態に改善することがわかっています。歯科衛生士は歯周基本治療の中心を担い、その出来いかんによっては歯周治療の成功、不成功に直接的に関わって来るとも重要な役割を担っています。さらに超高齢化社会において益々歯科衛生士の役割は広範囲になり、その責任は重くなってきます。

また、歯周治療を成功に導く要素として、術者の豊富な知識と優れた技術が必要であることは誰もが認めるところではありますが、歯周治療の特徴として、患者が行う毎日の口腔清掃が歯周治療の成功の良否を左右しています。つまり患者の歯周病への理解と自らが健康になりたいと願う強い気持ちが無くては歯周治療を成功に導くことは出来ません。つまり患者の意識改革を行うためのカウンセリングがとても重要になります。今回は歯周治療を進める上で、どのように患者さんにアプローチしたら良いのか、またスタッフとしてはどのような心構えを持ったら良いのか、そして歯周治療を成功に導くためのシステム作りとして、カウンセリングをどの時点でどのような方法で行うのが効果的なのかを、当医院を例にとりご紹介しながら解説いたしたいと思います。

略 歴

1982年	日本大学松戸歯学部卒業	2007年	日本臨床歯周病学会認定医・指導医
1989年	若林歯科医院（東京都渋谷区恵比寿西）開院	2008年	日本歯周病学会指導医
1994年	日本歯周病学会専門医	2013年～	日本歯周病学会理事・日本臨床歯周病学会副理事長
1997年～	米国歯周病学会会員	2016年	オーラルケアクリニック青山開院（東京都港区）
2004年～	日本大学松戸歯学部歯周治療学教室非常勤医員	2017年	日本大学客員教授